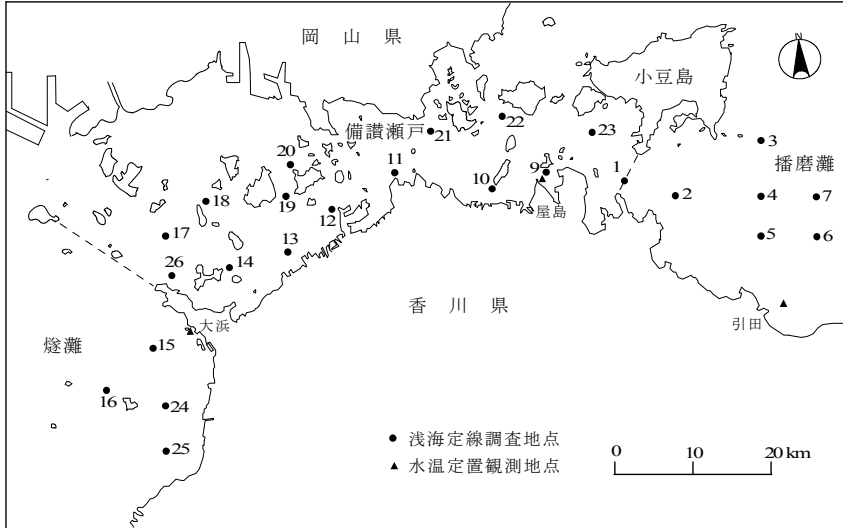


香川県漁海況速報 平成22年10月 (H22-7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成22年10月4日（備讃瀬戸，燧灘），5日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みからかなり高め」、透明度は「平年並みから著しく高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

10月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	25.9	25.8	25.6	31.8	31.8	31.9	8.7	4.08	4.03
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.6	31.7	31.8	6.9	4.42	4.07
	平年偏差	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.7	0.8	0.7	0.9	0.9	0.8	1.7	0.27	0.33
	状 況	かなり高め	かなり高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	26.1	26.1	26.0	31.6	31.6	31.7	6.5	4.16	4.12
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.4	31.5	31.5	3.9	4.29	4.19
	平年偏差	1.2	1.3	1.3	0.2	0.1	0.1	2.6	-0.13	-0.07
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.31	0.30
	状 況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	著しく高め	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	26.2	25.9	25.7	32.2	32.2	32.2	8.3	4.39	4.32
	平年値	25.0	24.7	24.6	31.6	31.9	32.0	7.5	4.89	4.08
	平年偏差	1.2	1.2	1.2	0.6	0.3	0.2	0.8	-0.50	0.24
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	2.4	0.50	0.66
	状 況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温，塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶 存 酸 素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は，毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ ：標準偏差)

やや高め（やや低め） $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め（かなり低め） $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め（著しく低め） $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

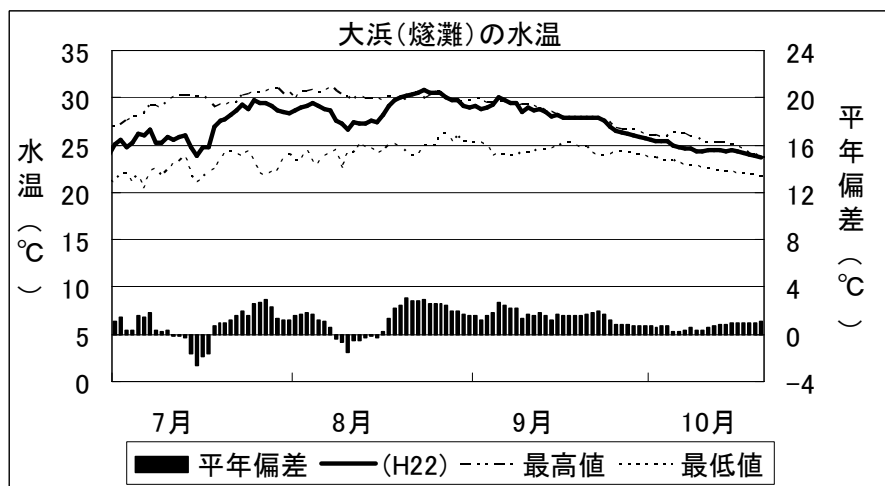
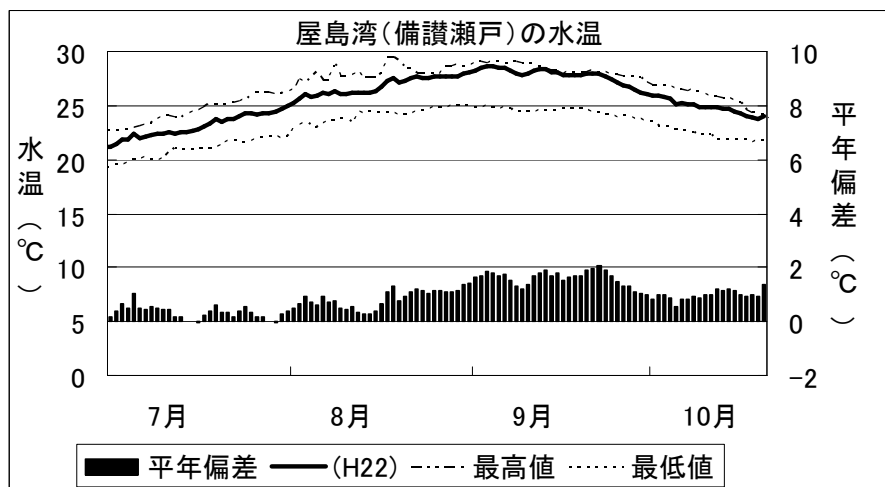
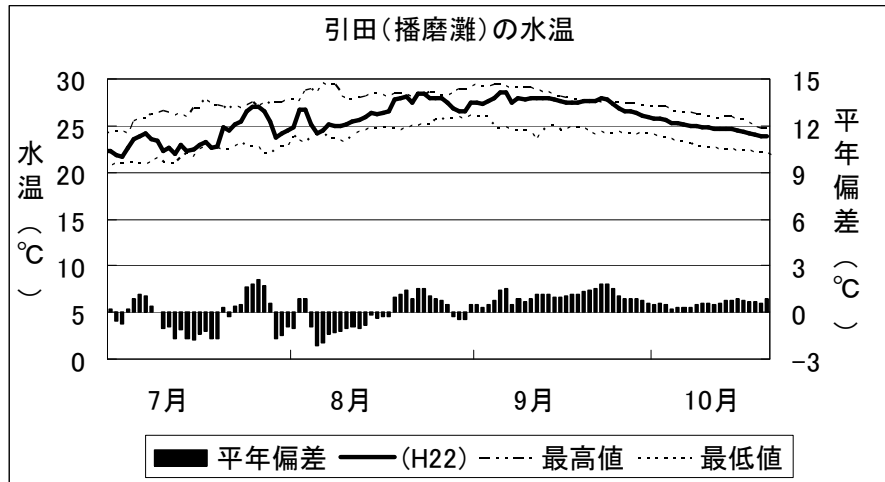
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 7月はかなり低めからかなり高め, 8月はかなり低めからかなり高め, 9月は平年並みから著しく高め, 10月は平年並みからやや高めで推移している。(7月下旬に1日, 8月下旬に1日, 9月下旬に4日, 過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 7月は概ね平年並み, 8月は平年並みからかなり高め, 9月はかなり高めから著しく高め, 10月はやや高めからかなり高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 7月は平年並みからかなり高め, 8月は平年並みから著しく高め, 9月はかなり高めから著しく高め, 10月は平年並みからかなり高めで推移している。(8月下旬に5日, 9月上旬に3日, 中旬に5日, 10月中旬に1日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (9月21日～10月25日)

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成22年10月4日（備讃瀬戸，燧灘），5日（播磨灘）

出現量

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年（1980）～平成21年（2009）年度

マイワシ：平成5年（1993）～平成21年（2009）年度

イカナゴ：平成7年（1993）～平成21年（2009）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	1.1	0.0	0.0	3.6	4.1
	平年値	2.2	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	0	544	－	－		
備讃瀬戸	平均値	0.2	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	259	0	－	－		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	5.3
	平年値	1.2	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	0	0	－	－		
総平均	平均値	0.1	0.3	0.0	0.0	2.0	2.4
	平年値	0.9	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	12	393	－	－		

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、アジ類、シロギス、イボダイ、メイタガレイ、ネズッコ類、ウシノシタ類、カワハギ、マアナゴ、クルマエビ、小エビ類、マダコ、イイダコ、コウイカ、アカニシ、ガザミが漁獲されている。また、小アジ、小エビ類、マダコは好調、ガザミは10月から増加、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>東讃のしらす船びき網は、鶴羽漁業協同組合以西ではノリ養殖のため終漁したが、東讃漁業協同組合以东で好調である。</p> <p>建網では主にクロダイ、カサゴ、クルマエビが漁獲されているが低調である。</p> <p>さわら流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、フグ類、マダコ、イイダコ、イカ類、クルマエビ、小エビ類、アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主にマダイ、クロダイ、シロギス、メバル、カサゴ、ウミタナゴが漁獲されている。</p> <p>さわら流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にタチウオ、テンジクダイ、メイタガレイ、コウイカ、シャコ、クルマエビ、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主に小型のマルアジ、タチウオ、コウイカが漁獲されている。</p> <p>さわら流し刺し網は10月から出漁しているが、過去2年の同期間における漁獲量と比べ、サワラ約10%、サゴシ31%と不漁である。</p>